

令和5年11月9日

関係者各位

鹿児島県立鹿屋高等学校

校長 福元洋介

令和6年度入学生のクラス編成について

日頃より、本校の教育活動にご理解をいただき感謝申し上げます。

さて、本校では従来、難関大学や難関学部を目指す生徒の進路希望を支援するために、2年生で文系・理系に分かれて進級する際に、習熟度別による学級編成を行い、文系・理系それぞれに「選抜クラス」を1クラスずつ設置してきました。平成31年度からは、より早い段階からということで入学時の1年生から「選抜クラス」を設置してきました。

今年3月までに1年生から「選抜クラス」を設置した2つの学年が卒業しました。卒業生の進路実績をみますと、それなりの成果は見られるのではないかと校内では分析しております。しかしながら、学習指導要領が変わり、「令和の日本型学校教育」が示され、主体的な学び、個別最適な学びなどが重要になってくる中、1年生段階での「選抜クラス」設置は時期尚早ではないかとの意見も大きくなってきました。また、学級数が減少してきたことにより、現2・3年生では、文系・理系それぞれに設置していた「選抜クラス」を1クラスにまとめて設置しております。

そこで、1年生段階では高等学校の学習内容や生活に慣れ、自身の進路目標をしっかりと見据えてもらうことなどを考え、**令和6年度入学生からは、1年次は「選抜クラス」を設置せず、2年生への進級時から設置することとしました。**「選抜クラス」を設置しない代わりに、特に得意・不得意の差に大きな開きが見られる**数学と英語の2教科に関しては、2クラスを習熟度により3クラスに解体して授業を行います。**それにより得意な生徒は更なるレベルアップ、不得意な生徒はしっかりとした学力の定着を目指します。「1年生から『選抜クラス』を編成しないようになり、難関大学や難関学部への進学が厳しくなった。」と言われることがないように、職員一丸となって取り組んでまいる所存です。

つきましては、今回のクラス編成の変更をご理解いただきますとともに、別添資料を3年生の進路指導の参考にご利用ください。今後ともよろしく願いいたします。